

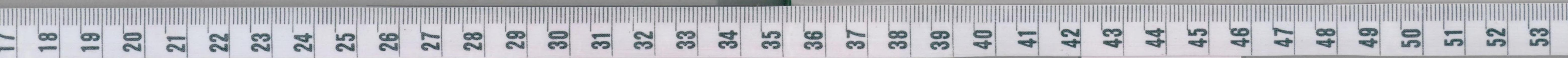
三十石艦始

二

京乙  
5  
390

別圖

5-3  
4-2





三十石船始

二

京  
5  
390

別圖



三十石船始  
大正  
八、六、四  
購求

帛數六十

大正  
8. 6. 4  
購求





三十石艦始

中入

卒後五十六

中村十兵衛

一吉川段一色

一志賀久左衛門

一江戸の東二年

一右門十内

一巻山新治

一山崎やぶ左衛門

一花屋道介

一けせの揚巻

一見ゆき

一見ゆき

伊徳

伊達

伊豆

伊予

伊勢

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

一江戸段一色

一志方南斎

一江戸の東二年

一花屋道介

一巻山新治

一山崎やぶ左衛門

一花屋道介

一けせの揚巻

一見ゆき

一見ゆき

一江戸段一色

一志方南斎

一江戸の東二年

一花屋道介

一巻山新治

一山崎やぶ左衛門

一花屋道介

一けせの揚巻

一見ゆき

一見ゆき





傳は向山一面の念あるは二重草を思ふ代  
 傳世の例に當りては向山に大言立て居る東の  
 方に文せあるのとて大言常上りしとて此の居る  
 者の高上りしてなほい長く双方此處に大せり  
 上りありてありおの念に居る者も良方松  
 傳の中に入るとありては文せ方に舟大工  
 大良方に百姓大せいなほい長く通く  
 心く

一侍 ちせり  
 一あま ちせり  
 一百姓 大せり  
 一ひり 大せり









一 此の如く  
 一 此の如く  
 一 此の如く  
 一 此の如く

一 此の如く  
 一 此の如く  
 一 此の如く  
 一 此の如く

一 此の如く  
 一 此の如く  
 一 此の如く  
 一 此の如く











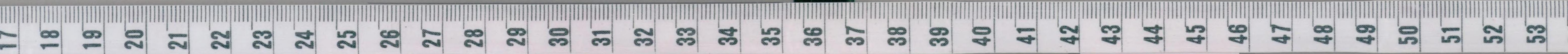






大 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

















一 大 源八

一 大 物有に子の

一 大 後列

一 大 美博のち  
ト新より始まつてぬ方とて

一 大 ちと改く世を改むるに

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて

一 大 ちりよありて























三 なるゝも  
大 一 戸一 戸  
三

一 戸一 戸  
大 一 戸一 戸  
三  
一 戸一 戸  
大 一 戸一 戸  
三  
一 戸一 戸  
大 一 戸一 戸  
三

一 戸一 戸  
大 一 戸一 戸  
三  
一 戸一 戸  
大 一 戸一 戸  
三  
一 戸一 戸  
大 一 戸一 戸  
三



























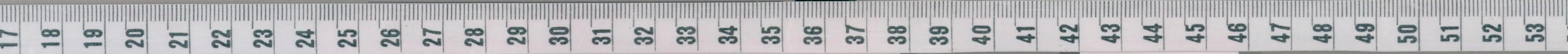


一 ちか  
一 海を渡る舟に帆をたたくはまはるかに  
り 舟は風をたたくはまはるかに  
ま 舟は風をたたくはまはるかに  
ま 舟は風をたたくはまはるかに

一 ちか  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに

一 ちか  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに  
一 舟をたたくはまはるかに

ト 舟をたたくはまはるかに  
ト 舟をたたくはまはるかに





おしよはかたむく

一 ちよものも同格なるは合てくむ

一 界はよふあしでたれたるかへは姉に平格なる

一 ちよのちよはくむ

一 本いふはあしよ永くつりたは

一 奈いふはあしよ永くつりたは

一 界いふはあしよ永くつりたは

一 ちよのちよはくむ

一 本いふはあしよ永くつりたは

一 奈いふはあしよ永くつりたは

一 本いふはあしよ永くつりたは

一 界いふはあしよ永くつりたは

一 姉きてよふあしよ永くつりたは

一 姉きてよふあしよ永くつりたは

一 本いふはあしよ永くつりたは

一 界いふはあしよ永くつりたは

一 本いふはあしよ永くつりたは

一 界いふはあしよ永くつりたは

一 本いふはあしよ永くつりたは

一 界いふはあしよ永くつりたは















Handwritten text in Arabic script on the left page, consisting of several lines of cursive script. The text is written in black ink on aged paper. There are some faint markings and bleed-through from the reverse side.

Handwritten text in Arabic script on the right page, continuing from the left page. It consists of several lines of cursive script, similar in style to the left page. There is also some bleed-through from the reverse side.

























去 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

去 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百





















一六  
一七  
一八  
一九  
二〇  
二一  
二二  
二三  
二四  
二五  
二六  
二七  
二八  
二九  
三〇  
三一  
三二  
三三  
三四  
三五  
三六  
三七  
三八  
三九  
四〇  
四一  
四二  
四三  
四四  
四五  
四六  
四七  
四八  
四九  
五〇  
五一  
五二  
五三

一六  
一七  
一八  
一九  
二〇  
二一  
二二  
二三  
二四  
二五  
二六  
二七  
二八  
二九  
三〇  
三一  
三二  
三三  
三四  
三五  
三六  
三七  
三八  
三九  
四〇  
四一  
四二  
四三  
四四  
四五  
四六  
四七  
四八  
四九  
五〇  
五一  
五二  
五三

一六  
一七  
一八  
一九  
二〇  
二一  
二二  
二三  
二四  
二五  
二六  
二七  
二八  
二九  
三〇  
三一  
三二  
三三  
三四  
三五  
三六  
三七  
三八  
三九  
四〇  
四一  
四二  
四三  
四四  
四五  
四六  
四七  
四八  
四九  
五〇  
五一  
五二  
五三

一六  
一七  
一八  
一九  
二〇  
二一  
二二  
二三  
二四  
二五  
二六  
二七  
二八  
二九  
三〇  
三一  
三二  
三三  
三四  
三五  
三六  
三七  
三八  
三九  
四〇  
四一  
四二  
四三  
四四  
四五  
四六  
四七  
四八  
四九  
五〇  
五一  
五二  
五三











大  
一 かなんしあはれいふは  
かたしあはれいふは

大  
一 かなんしあはれいふは  
かたしあはれいふは

大  
一 かなんしあはれいふは  
かたしあはれいふは

大  
一 かなんしあはれいふは  
かたしあはれいふは

大  
一 かなんしあはれいふは  
かたしあはれいふは

大  
一 かなんしあはれいふは  
かたしあはれいふは

大  
一 かなんしあはれいふは  
かたしあはれいふは

大  
一 かなんしあはれいふは  
かたしあはれいふは















一 中 国 語 の 学 び 方 について

一 語 彙

一 漢 字 の 形 容 詞 類 について

一 漢 字 の 動 詞 類 について

一 漢 字 の 名 詞 類 について

一 漢 字 の 文 法 について

一 漢 字 の 音 韻 について

一 漢 字 の 書 法 について

一 漢 字 の 歴 史 について

一 漢 字 の 現 状 について

一 漢 字 の 未 来 について

一 漢 字 の 学 び 方 について

一 漢 字 の 学 び 方 について

一 漢 字 の 学 び 方 について

一 漢 字 の 学 び 方 について

一 漢 字 の 学 び 方 について

一 漢 字 の 学 び 方 について











一 岸邊の事柄は、  
中下層の事柄は、  
今月海の花は、  
あつた。

一 岸邊の事柄は、  
中下層の事柄は、  
今月海の花は、  
あつた。

一 岸邊の事柄は、  
中下層の事柄は、  
今月海の花は、  
あつた。





一 年の代の...  
一 年のお...

トお長か...  
トお長か...  
トお長か...

一 年のお...

トお井の...

一 年のお...

トお井の...

一 年のお...

一 年のお...

一 年のお...

トお井の...

一 年のお...

トお井の...

一 年のお...

一 年のお...

一 年のお...

一 年のお...

一 年のお...

一 年のお...



一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり

一 何人(七)のり



























天保九年三月十六日  
藤野野矢





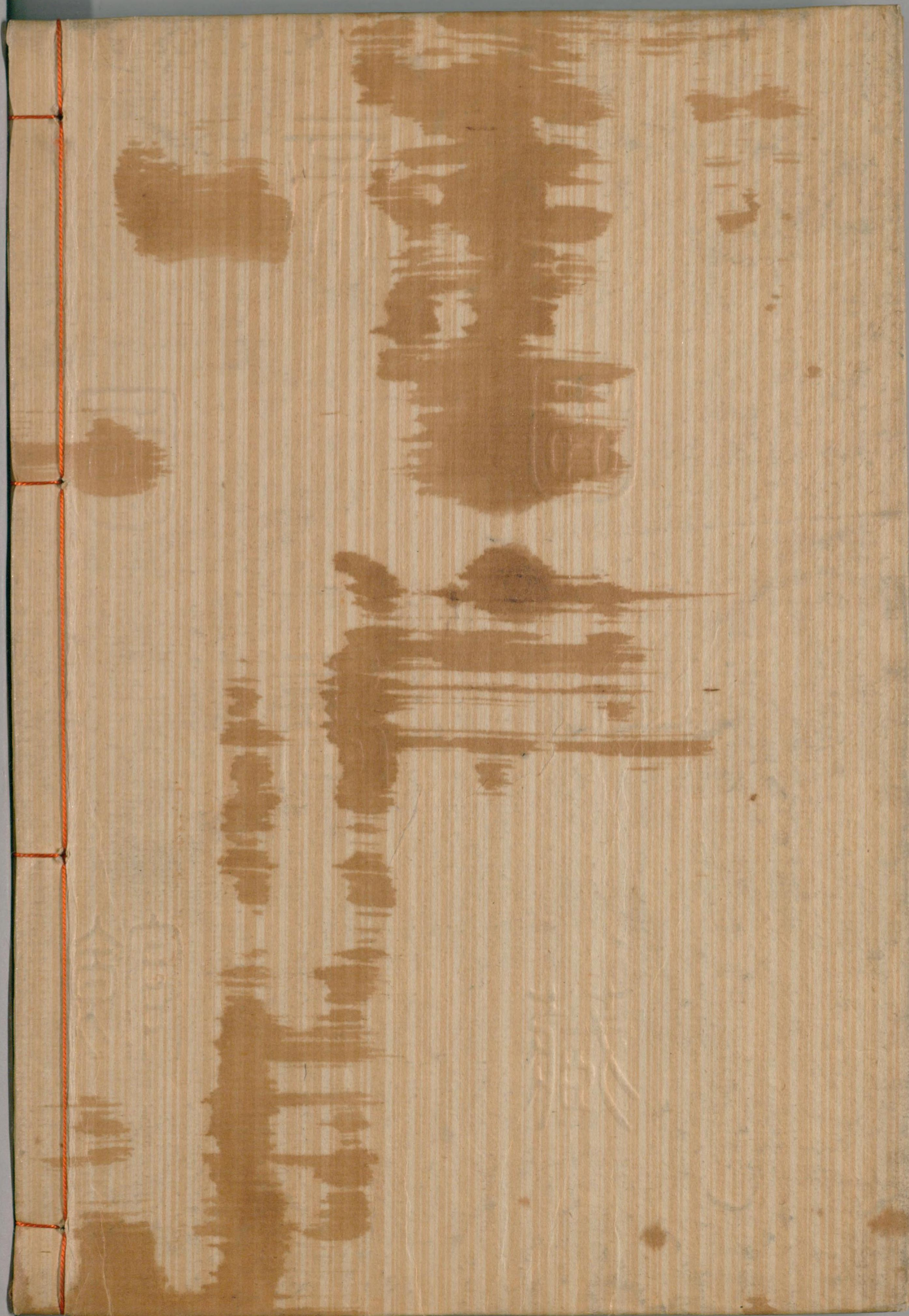
乙  
京  
5  
390



国立国会図書館 タイトル『三十石船始』 請求記号 寄別5-3-4-2

ガラス使用





国立国会図書館 タイトル『三十石船始』 請求記号 寄別5-3-4-2

ガラス使用